

## 「不審者について」

岩沼市立岩沼南小学校 6年

佐藤 里菜 さん

最近、テレビで、不審者についてのニュースをよく見ます。その中には、刃物でさされるといった内容のものも見られます。とてもこわいし、どうしたらこのようなことを防ぐことができるのかも思います。私は、不審者にあわないようにするには、私たちのような、子供、一人一人が、しっかりと意識することが大切だと思います。

なぜなら、子供、特に小学生をねらった事件が多く発生しているからです。学職別の発生状況を示したグラフでは、小学生が約四十七パーセントと割合が最も多いです。

それに、時間別の発生状況を示したグラフでは、午前七時、午後三時、四時、五時といった時間が多いです。これは、私たちが登下校をする時間です。状況別のグラフで見ても、下校時の割合が、五十三パーセントと、最も多いです。委員会やクラブ活動などで、帰りがおそくなりがちですが、そのようなときには、複数で行動する、明るい道や、大通りを歩くといったことが大切です。もし、不審者にあってしまった場合には、防犯ブザーを鳴らす、大声を出すということも大切になってきます。

また、一人一人の意識だけでなく、地域の人たちの協力も大切になってくると思います。防犯カメラや街灯などをとりつけるなどといったものだけではなく、子供の帰りがおそくなる場合には、親がむかえに行く、事件などから身を守れるような防犯知識を身につけさせておくといった、家庭での対応が必要です。地域では、安全パトロールなど、子供の安全に関心を持ち、見守るといった対応も必要です。

たくさんの方が、きちんと意識をもち、安全に行動ができるように心がけていたとしても、中には、関係のない子供だからと無関心な大人や、自分は、不審者なんかに絶対にあわないと思っている子供もいるかもしれません。確かに、無関係かもしれませんが、大人たちが、そのような考えでは、このような犯罪を、見て見ぬふりをしているとしか思えません。それに、子供でも、実際にいろんな場所でたくさんの方が被害にあっているのです、自分は大丈夫とっていて、何もしないのは、だめだと思います。

不審者の被害にあわないためには、被害にあいやすい子供一人一人がしっかりと意識をもち、家庭や地域の人たちも子供を守るということにしっかりと責任をもつということが大切になってくるのではないのでしょうか。